

消化器外科

I. スタッフ紹介

『消化器センター外科』

役職： 副院長、消化器外科主任部長

氏名： **寺嶋宏明** 「専門領域：肝胆膵外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科部長

氏名： **田浦康二期** 「専門領域：肝胆膵外科、移植外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・評議員、日本肝臓学会 専門医、日本胆道学会 指導医、日本移植学会 認定医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長

氏名： **福田明輝** 「専門領域：消化管外科（大腸外科）、内視鏡外科、癌化学療法、腹部救急外科」

資格： 日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本救急医学会 専門医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長

氏名： **田中英治** 「専門領域：消化管外科（食道外科・胃外科）、内視鏡外科、ヘルニア外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（食道）、日本食道学会 食道科認定医・食道外科専門医・評議員、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長

氏名： **井口公太** 「専門領域：肝胆膵外科、消化管外科（大腸外科）、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本肝胆膵外科学会 評議員、日本肝臓学会 専門医、日本がん治療認定医機構 認定医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科医員

氏名： **奥知慶久** 「専門領域：消化管外科、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（胃）

役職： 消化器外科医員

氏名： **河合隆之** 「専門領域：肝胆膵外科、内視鏡外科、ヘルニア外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝臓学会 専門医、日本移植学会 移植認定医、日本がん治療認定医機構 認定医、日本再生医療学会 認定医

役職： 消化器外科医員

氏名： **仲野健三** 「専門領域：肝胆膵外科、消化器外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）

役職：消化器外科医員

氏名：山本健人「専門領域：消化管外科、内視鏡外科」

資格：京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）、日本感染症学会 専門医、日本がん治療認定医機構 認定医、ICD 制度協議会 感染管理医師（ICD）

役職：消化器外科医員

氏名：久野晃路「専門領域：消化器外科」

資格：日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医

役職：消化器外科専攻医

氏名：大下恵樹「専門領域：消化器外科」

役職：消化器外科専攻医（2023 年 4 月 1 日入職）

氏名：中能玲央「専門領域：消化器外科」

II. 診療・治療の特徴

☆ 消化器センター消化器外科の特色

医学研究所が設立母体である当院は、科学的根拠に基づき、患者さんにとって最適かつ最良の治療方法を見つけだし、その治療にあたることを理念とし医療を行っている。消化器癌治療においては、各種の癌診療ガイドラインに記載された標準治療をベースにしながら、最新の研究成果・知見を活かして、より治療効果の高い集学的治療を実践・探求している。

手術手技については、ロボット支援手術を含めた内視鏡外科の導入率を経年的に増加させている。消化器手術（局麻の CV port 関連手術除く）における腹腔鏡手術施行率は、以下の通り経時的に増加しており、2023 年は 80%を超えるに至った（2014 年=42.1%、2017 年=59.8%、2020 年=65.4%、2021 年=69.8%、2022 年=79.5%、2023 年=80.5%）。また再発癌（直腸癌、大腸癌肝転移）や切除不能癌（大腸癌肝転移、膵癌、胆道癌）に対しても、化学療法/化学放射線療法を併用しながら、積極的に切除可能性を追求している。年間の全手術数は 730～780 件（2023 年度は前年度の 718 件からさらに増加して、過去 5 年間で最高の 779 件となった）、全身麻酔手術件数が 570～660 件（2023 年度は前年度 618 件から 659 件に増加）である。

食道癌

2023 年度年間手術症例は 4 例であった。外科切除適応症例に対しては、低侵襲手術である胸腔鏡（VATS）+腹腔鏡（pure-Lap）手術の完全内視鏡手術を標準術式としている。進行食道癌に対しては術前化学療法/術後補助化学療法を導入し、治療成績向上を目指している。新規患者については、食道外科医/消化器内科医（消化管）/放射線科医/腫瘍内科医からなる「食道癌ユニット」で治療方針を検討している。

胃癌

2023 年度胃切除症例は 24 例であり、内訳は胃全摘 2 例、噴門側胃切除 3 例、幽門側胃切除 19 例であった。開腹/腹腔鏡/ロボット支援手術の内訳は 1/11/12 例であり、徐々にロボット支援手術の割合が増加している。高度進行胃癌（高度リンパ節転移例、スキルス胃癌など）に対しては、診断的腹腔鏡で腹膜播種や肝転移の有無など病期を正確に評価した上で、術前化学療法を導入して外科的切除を施行しており、2023 年度も 6 例に診断的腹腔鏡を施行した。

大腸癌

2023 年度年間手術症例は 140 例であった。内訳は結腸 93 例、直腸 57 例。結腸、直腸とも腹腔鏡下手術を原則としており、腹腔鏡手術施行率：130/140=93%（2023 年度）であった。ロボット支援手術は直腸手術では 31/57（54%）、結腸手術では 16/93（17%）に施行されており、この割合は今後も増加することが見込まれる。高度進行直腸癌に対しては術前化学療法/化学放射線療法を導入し、腫瘍学的に根治性を損なわない肛門温存・自律神経温存手術を可能な限り目指している。

大腸癌の大きな予後規定因子である肝転移に対しては積極的な肝切除を行っており、切除不能肝転移症例に対しても、全身化学療法により肝転移巣を縮小させた後に、原発巣と肝転移巣を切除する、“conversion surgery”を導入している。一方で、肝転移症例は肝切除後も高頻度に再発（肝、肺など）を認めるが、外科的切除（再肝切除/再々肝切除や肺切除/再肺切除）を積極的に組み入れて、治療成績向上を目指している。

肝癌（肝細胞癌/肝内胆管癌/転移性肝癌）

2023 年度肝切除症例は 37 例であった。開腹手術 7 例、腹腔鏡手術 30 例であり、腹腔鏡手術の割合が増加してきており、80%となった。肝細胞癌の罹患率は全国的に減少傾向にあり、手術症例数の維持は容易ではない。腹腔鏡手術の低侵襲性を活かし、これまでは切除の対象とならなかったような高齢、低肝機能、再発症例に対する相対的な手術適応の拡大により症例数の維持に努めている。

肝細胞癌は何らかの慢性肝障害をベースに有するために、再発率も高い。消化器内科との協力のもと、厳重な術後フォローアップを行っており、早期に再発を診断した上で、再肝切除、経肝動脈塞栓術（TACE）や経皮的ラジオ波焼灼術（RFA）などの治療を実践している。

一方、大腸癌肝転移については、単発の切除可能症例については肝切除を先行しているが、多発肝転移では化学療法を先行導入し、腫瘍縮小効果を見ながら切除のタイミングを検討している。また切除不能症例においても、化学療法により腫瘍が縮小化し、肉眼的遺残のない切除が可能と判断すれば、切除の対象としている。肝切除後の再発症例でも、再肝切除や再々肝切除を積極的に行い、長期予後改善を目指している。

膵癌

2023 年度膵癌に対する膵切除症例は 18 例であった（膵頭十二指腸切除 6 例、尾側膵切除 12 例）。尾側膵切除症例についてはそのほとんどを腹腔鏡手術で施行しており（9/12 = 75%）、近々ロボット支援手術も導入予定である。

（１）切除可能膵癌については、Tis/T1a は upfront surgery とし、T1b 以上は術前化学療法後に神経叢温存下での D2 リンパ節郭清を伴う膵切除を原則としている。術前化学療法のレジメンは、T1b～T2 には GEM+S1 を、T3 以上やリンパ節転移陽性症例には GEM+ nab-PTX、と使い分けている。（２）切除可能境界膵癌については化学療法（GEM+ nab-PTX）を先行させ（少なくとも 3～4 kur）、腫瘍マーカーの正常化、または画像診断上 Resectable と判断されれば切除を行っている。上記基準を満たさない場合は、①化学療法の 2nd line（mFOLFIRINOX）、または②CRT（S1+RT）に治療変更する。（３）切除不能局所進行膵癌に対しては、化学療法（GEM+nab-PTX or mFOLFIRINOX）を少なくとも 6～8 ヶ月行い、腫瘍マーカーの正常化または再上昇無しの状態で、かつ画像診断上（特に PET での集積陰影の縮小化が重要）切除適応と評価すれば、conversion surgery を行っている。術後再発時の化学療法（mFOLFIRINOX や GEM+nab-PTX）の治療成績向上もふまえ、当院における浸潤性膵管癌切除例（2009 年 1 月～2023 年 12 月）の最新の治療成績（術後全生存率）は、1 生 89.3%、3 生 62.6%、5 生 45.1%であり、生存期間中央値は 51.6 ヶ月となっている。

その他

胆石症は年間 130～150 例（腹腔鏡下胆摘は 120～130 例）、ヘルニアは年間 80～100 例であり、いずれもそのほとんどを腹腔鏡手術で施行している。

医療設備： MRI、MDCT、造影超音波診断装置、血管造影装置、RFA（ラジオ波焼灼装置）、超音波外科吸引装置（CUSA）、VIO、Vincent 3D 画像解析システム、da Vinci ロボット支援外科手術システム、内視鏡手術システム、Medical Imaging Projection System

Ⅲ. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 奥知慶久、田中英治、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合の工夫—補強材付きステープラーの有用性について— 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 2 田中英治、河合隆之、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における言語の共通化を基にした手技の定型化 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 3 井口公太、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 膵切除後 NAFLD と腸内細菌叢・血清胆汁酸の関連に関する検討 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 4 田浦康二朗、上村良、井口公太、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 IWATE criteria に基づいた当院における腹腔鏡下肝切除の振り返り 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 5 薬師川高明、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 巨大膵体尾部腫瘍に対する完全腹腔鏡下膵体尾部切除における当院の工夫 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 6 山本健人、河田健二、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 MRI による骨盤内計測を用いた直腸癌の手術難度予測と男女間骨盤形態の比較 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 7 久野晃路、河合隆之、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 複数診療科による combined surgery における、当院消化器外科の取り組みと周術期成績 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 8 小濱和貴、波多野悦朗、戸井雅和、寺嶋宏明、河本和幸、西脇隆太 サステナブルな外科医療へ向けて本学外科が取り組んでいること：医局に代わる「外科交流センター」の果たす役割 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 9 森章、河本泉、太田秀一、寺嶋宏明 低侵襲手術時代において消化器外科専攻医は開腹手術を経験できるか 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 10 田中康介、内田洋一郎、影山詔一、中村公治郎、渡邊武、川本浩史、嵯峨謙一、門野賢太郎、田浦康二朗、寺嶋宏明、波多野悦朗 マウス脂肪肝グラフト移植モデルの新規確立—脂肪肝グラフトの使用適応拡大に向けた基礎的アプローチ— 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 11 森本智紀、山本健人、前川久継、錦織達人、久森重夫、角田茂、河田健二、三好弘之、武藤誠、小濱和貴 患者検体より採取した胃癌細胞由来球体細胞（spheroid）の効果的培養法 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～2023/4/29(東京)
- 12 中村大地、西尾太宏、木村有佑、上本祐介、小山幸法、田浦康二朗、波多野悦朗 大腸癌肝転移に対する肝切除後肝外転移再発の予測因子の検討 第 123 回日本外科学会定期学術集会 2023/4/27～

2023/4/29(東京)

- 1 3 山本健人 一般外科医が目指すクリニカルクエスションの解決と論文での情報発信、感染症診療の質の向上 第 97 回日本感染症学会総会・学術講演会 2023/4/28~2023/4/30(横浜)
- 1 4 河合隆之、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院の腹腔鏡下腓体尾部切除術におけるガーゼ付 Nthanson Liver Retractor を用いた術野展開の工夫 第 77 回手術手技研究会 2023/5/12~2023/5/13(名古屋)
- 1 5 奥知慶久、田中英治、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 胃癌手術における左副肝動脈温存の左胃動脈周囲リンパ節郭清手技とその周術期成績 第 77 回手術手技研究会 2023/5/12~2023/5/13(名古屋)
- 1 6 西川裕太、福田明輝、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 頭側アプローチ先行腹腔鏡下右半結腸切除術 第 77 回手術手技研究会 2023/5/12~2023/5/13(名古屋)
- 1 7 久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 悪性リンパ腫を背景としたサイトメガロウイルス腸炎による回腸多発穿孔に対して緊急手術を施行した一例 第 648 回大阪外科集談会 2023/5/20(大阪)
- 1 8 山本健人、北野翔一、奥知慶久、福田明輝、田中英治、小濱和貴、寺嶋宏明、柿崎文彦、三好弘之、武藤誠 FGFR4 mRNA 過剰発現は大腸癌患者の再発リスク因子であり新規バイオマーカーとなりうる 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12~2023/7/14(函館)
- 1 9 久野晃路、田中英治、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 食道裂孔ヘルニアを伴う胃軸捻転に対し barbed suture を用いた腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復・胃固定術の 2 例 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12~2023/7/14(函館)
- 2 0 山本健人、内田洋一郎 知っておくべき PICC の知識と適応、輸液の実践 第 1 回若手医師のための PICC&輸液ハンズオンセミナー 2023/6/10~2023/6/10(京都)
- 2 1 Kojiro Taura, Kenzo Nakano, Takayuki Kawai, Kohta Iguchi, Hiroaki Terajima The current status of whole layer cholecystectomy for gallbladder cancer ~ A systematic review ~ 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30~2023/7/1(東京)
- 2 2 Takayuki Kawai, Kenzo Nakano, Kohta Iguchi, Kojiro Taura, Hiroaki Terajima Our strategies to achieve both continuously producing board-certificated HBP surgeons and reducing postoperative pancreatic fistula incidence in pancreatic surgery 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30~2023/7/1(東京)
- 2 3 Kenzo Nakano, Hiroaki Terajima, Takayuki Kawai, Kohta Iguchi, Ryo Kamimura, Kojiro Taura Examining the efficacy of neoadjuvant therapy and the significance of biological BR definition based on CA19-9 values from the treatment outcomes of anatomically resectable pancreatic cancer 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30~2023/7/1(東京)
- 2 4 Kohta Iguchi, Kenzo Nakano, Takayuki Kawai, Akira Kurita, Kojiro Taura, Hiroaki Terajima A case of locally advanced adenocarcinoma of the gallbladder with complete pathological response after successful preoperative chemoradiotherapy 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30~2023/7/1(東京)
- 2 5 Masato Narita, Koji Kitamura, Hiroaki Terajima, Hirohisa Kitagawa, Eisei Mitsuoka, Takafumi Machimoto, Satoshi Morita, Ryuta Nishitai, Toshihiko Masui, Etsuro Hatano The frequency and clinical implications of the remnant pancreatic duct dilation after pancreaticoduodenectomy - A prospective multicentre study 第 35 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2023/6/30~2023/7/1(東京)
- 2 6 寺嶋 宏明、大下 恵樹、岩井 祐人、西川 裕太、久野 晃路、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、田浦 康二郎 尾状葉境界を意識した肝前区域切除:Medical Imaging Projection System によ

- る ICG 蛍光 navigation の有用性 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 7 田浦 康二郎、井口 公太、仲野 健三、河合 隆之、久野 晃路、山本 健人、奥知 慶久、田中英治、福田 明輝、寺嶋 宏明 技術的ハードルの低い腹腔鏡下肝後区域切除の定型化 ストレスフリーな後区域グリソン確保、切離を重視して 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 8 奥知 慶久、田中英治、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 腹腔鏡下幽門側胃切除術におけるパート別手術時間測定による苦手分野の可視化は技術向上に寄与する 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 2 9 山本 健人、北野 翔一、奥知 慶久、福田 明輝、田中英治、小濱 和貴、寺嶋 宏明、柿崎 文彦、三好 弘之、武藤 誠 FGFR4 mRNA 過剰発現は大腸癌患者の再発リスク因子であり新規バイオマーカーとなりうる 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 0 福田 明輝、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、奥知 慶久、井口 公太、田中英治、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 当院における直腸がんに対する腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の短期成績 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 1 大下 恵樹、井口 公太、仲野 健三、河合 隆之、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 肝胆膵手術における術後肺塞栓症と血中 D-dimer 測定の意義 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 2 井口 公太、巽 絢子、京面 ももこ、仲野 健三、河合 隆之、奥田 雄紀浩、上村 良、田中英治、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 膵切除後 1 年間の糖脂質代謝・栄養学的指標の推移～膵切除後 NAFLD 発症メカニズムの検討～ 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 3 田中英治、奥知 慶久、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 食道切離を伴う内視鏡下消化管再建における当院での工夫～補強材付きステープラーによる食道切離の有用性～ 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 4 河合 隆之、久野 晃路、山本 健人、仲野 健三、奥知 慶久、井口 公太、田中英治、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 尾側膵切除での新規膵断端処理(DS clip 併用)の有用性に関する後方視的検討 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 5 久野 晃路、田中英治、山本 健人、仲野 健三、河合 隆之、奥知 慶久、井口 公太、福田 明輝、田浦 康二郎、寺嶋 宏明 食道裂孔ヘルニアを伴う胃軸捻転に対し barbed suture を用いた腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復・胃固定術の 2 例 第 78 回日本消化器外科学会総会 2023/7/12～2023/7/14(函館)
- 3 6 井口公太、仲野健三、奥田雄紀浩、田浦康二郎、寺嶋宏明 急性期と慢性期の膵切除後患者から考えた栄養管理～アミノ酸と腸内細菌叢・胆汁酸～ 第 54 回日本膵臓学会大会 2023/7/21～2023/7/22(福岡)
- 3 7 松崎葵、奥知慶久、久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 肺癌小腸転移による異時性穿孔性腹膜炎を 3 度来たし救命し得た一例 第 649 回大阪外科集談会 2023/7/22(大阪)
- 3 8 田浦康二郎 教えます！Synapse Vincent のコツとピットフォール 第 59 回日本肝癌研究会 2023/7/28～2023/7/29(大阪)
- 3 9 山本健人、福田明輝 技術認定医取得のコツ Lilly CRC Interactive Web Conference 2023/8/1～2023/8/1(hybrid Web (大阪))
- 4 0 河合隆之、仲野健三、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における慢性膵炎の手術治療に関する後方視的検討 第 50 回日本膵切研究会 2023/8/25～2023/8/26(東京)
- 4 1 仲野健三、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 解剖学的切除可能膵癌の治療成績から Biological BR の意義を再考する 第 50 回日本膵切研究会 2023/8/25～2023/8/26(東京)
- 4 2 山本健人、内田洋一郎 知っておくべき CV ポートの知識と適応・輸液の実践 第 2 回若手医師のた

めのCV ポート&輸液ハンズオンセミナー 2023/9/2(京都)

- 4 3 田浦康二郎、仲野健三、河合隆之、井口公太、寺嶋宏明 胆嚢癌に対する全層胆嚢摘出術；システマティックレビュー 第 59 回日本胆道学会学術集会 2023/9/14～2023/9/15(札幌)
- 4 4 矢野城、山本健人、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 大腸憩室炎穿孔・穿通に対する保存的治療成功・不成功例の比較検討 第 650 回大阪外科集談会 2023/9/9(大阪)
- 4 5 久野晃路、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 十二指腸潰瘍穿孔に対し腹腔鏡下に肝円索にて被覆した 1 例 第 36 回近畿内視鏡外科研究会 2023/9/30(大阪)
- 4 6 仲野健三、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 conversion surgery に向けた集学的治療戦略～外科・内科のみならず～ 第 17 回膝癌術前治療研究会 2023/10/7(黒部)
- 4 7 宇山武志、河井多美子、綾野友香、土井美千代、幕内理菜、寺嶋宏明 多職種連携を促進するための相談支援記録の意義についての検討 第 32 回日本がんチーム医療研究会 2023/10/14(大阪)
- 4 8 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 直腸癌患者における根治切除術後感染症の発生が予後と再発形式に与える影響 第 61 回日本癌治療学会学術集会 2023/10/20～2023/10/22(横浜)
- 4 9 河合隆之 臨床試験進捗状況報告：SAMURAI-Liver Study 第 31 回京都肝胆膵外科セミナー 2023/10/21(京都)
- 5 0 西川裕太、河合隆之、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 成人先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術導入後 3 症例の検討 JDDW2023 KOBE (第 31 回日本消化器関連学会週間) 2023/11/2～2023/11/5(神戸)
- 5 1 田浦康二郎 3D 画像解析システム SYNAPSE VINCENT の肝胆膵外科領域における臨床現場での活用事例 第 59 回日本赤十字社医学会総会 2023/11/9～2023/11/10(京都)
- 5 2 山本健人、河田健二、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 術前 MRI による骨盤サイズ計測は直腸癌の手術難度と術後肛門機能を予測しうるか 第 78 回日本大腸肛門病学会学術集会 2023/11/10～2023/11/11(熊本)
- 5 3 久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 十二指腸潰瘍穿孔に対し肝円索を利用し腹腔鏡下手術を施行した 1 例 第 85 回日本臨床外科学会総会 2023/11/16～2023/11/18(岡山)
- 5 4 田浦康二郎 消化器外科手術の現状と展望 ～腹腔鏡手術のエビデンスと集学的治療の最近の話題～ きたのパートナーズクラブ 2023/11/25～2023/11/25(大阪)
- 5 5 藤井勇記、仲野健三、田浦康二郎、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治 福田明輝 寺嶋宏明 肝前区域切除後離断型胆汁漏および再発肝細胞癌を、後区域切除術により一期的に治療し得た一例 第 651 回大阪外科集談会 2023/12/2(大阪)
- 5 6 河合隆之、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における成人先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術導入と短期成績 第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 7 福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 当院における閉塞性大腸癌(SEMS 留置)の手術成績 第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 8 久野晃路、田浦康二郎、中能玲央、大下恵樹、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 腹腔鏡下胆嚢摘出術困難例に対する工夫；Pringle 法併用底部先行アプローチによる腹腔鏡下胆嚢全摘術 第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 5 9 奥知慶久、田中英治、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 胃下垂は腹腔鏡下胃癌手術において障害となりうるか？

第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)

- 6 0 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援直腸手術の安全な導入、腹腔鏡手術との比較―単施設 14 年間の後方視的検討 第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 6 1 田中英治、河合隆之、戸田孝祐、壺井邦彦、磯田健太、肥田侯矢、寺嶋宏明、小濱和貴 技術認定取得を念頭においた施設横断型腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術指導体制の構築 第 36 回日本内視鏡外科学会総会 2023/12/7～2023/12/9(横浜)
- 6 2 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、寺嶋宏明 直腸癌患者における術後感染症の発生が予後と再発形式に与える影響 第 36 回日本外科感染症学会総会学術集会 2023/12/15～2023/12/16(小倉)
- 6 3 久野晃路、田浦康二郎、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 急性胆嚢炎に対する最新の外科的治療 第 21 回消化器センターK2-net 2024/1/18(大阪)
- 6 4 藤本貴士、河合隆之、中能玲央、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 成人先天性胆道拡張症に対する手術症例の後方視的検討 第 15 回大阪スペシャルミックス外科講演会 2024/1/19(大阪)
- 6 5 山本健人、福田明輝、奥知慶久、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 下部直腸癌における上方および側方リンパ節転移頻度に関する後方視的検討 第 100 回大腸癌研究会学術集会 2024/1/26(東京)
- 6 6 山本健人 学術領域における SNS の可能性と日本人外科医としての課題 日本胸部外科学会 第 1 回 JATS-NEXT Annual Conference 2024/1/27(大阪)
- 6 7 久野晃路、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 柿胃石による閉塞性イレウスに対し手術を実施した一例 第 207 回近畿外科学会 2024/2/3(大阪)
- 6 8 山本健人、福田明輝、中能玲央、大下恵樹、藤本貴士、久野晃路、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援直腸手術の導入―単施設 14 年間の後方視的検討 第 16 回日本ロボット外科学会学術集会 2024/2/10～2024/2/11(米子)
- 6 9 山本健人、内田洋一郎 消化器疾患患者における末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) 挿入症例 405 例の後方視的検討 第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (JSPEN2024) 2024/2/15～2024/2/16(横浜)
- 7 0 田浦康二郎、大下恵樹、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 術後大変だった腹腔鏡下肝右葉切除の 1 例 第 51 回近畿肝臓外科学研究会 2024/2/23～2024/2/23(大阪)
- 7 1 奥知慶久、田中英治、中能玲央、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下/ロボット支援下胃切除術における左副肝動脈を温存したリンパ節郭清の短期成績 第 96 回日本胃癌学会総会 2024/2/28～2024/3/1(京都)
- 7 2 田中英治、奥知慶久、大下恵樹、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 ロボット支援下噴門側胃切除における食道残胃吻合のピットフォールと工夫 第 96 回日本胃癌学会総会 2024/2/28～2024/3/1(京都)
- 7 3 河合隆之、中能玲央、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 大腸癌肝転移に対する肝切除法と予後の関係―後向き臨床研究結果と現行の前向き臨床研究について― 第 3 回京都肝臓サミット 2024/3/2(京都)
- 7 4 山本健人 『すばらしい人体』の作家が語る『すばらしい医学』～20 万部ベストセラー教養書が伝える医学の進歩～ 第 21 回北大阪感染症研究会 2024/3/7(大阪)
- 7 5 中能玲央、奥知慶久、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英

- 治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の適応症例とは？-大腸癌治療ガイドラインを再考する- 第16回大阪スペシャルミックス外科講演会 2024/3/8(大阪)
- 7 6 山本健人、内田洋一朗 知っておくべき PICC・CV ポートの知識と適応・輸液の実践 第3回若手医師のためのCVポート&輸液ハンズオンセミナー 2024/3/9(京都)
- 7 7 中能玲央、奥知慶久、藤本貴士、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 直腸癌の側方リンパ節転移陽性率から見える適切な側方リンパ節郭清症例の選択 第653回大阪外科集談会 2024/3/16(大阪)
- 7 8 久野晃路、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 子宮広間膜裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスに対し腹腔鏡手術を施行した一例 第60回日本腹部救急医学会総会 2024/3/21~2024/3/22(北九州)
- 7 9 久野晃路、田浦康二朗、中能玲央、藤本貴士、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 当院における急性胆嚢炎の外科的治療；早期手術と待機手術の比較 第115回大阪胆道疾患研究会 2024/3/21(大阪)
- 8 0 河合隆之 臨床試験進捗状況報告：SAMURAI-Liver Study 第32回京都肝胆膵外科セミナー 2024/3/30(京都)
- 8 1 藤本貴士、河合隆之、仲野健三、井口公太、田浦康二朗、寺嶋宏明 当院における、専攻医が執刀する腹腔鏡下肝切除 第32回京都肝胆膵外科セミナー 2024/3/30(京都)

【論文】

(原著論文)

- 1 Fukumitsu K, ..., Taura K, Pretransplant Renal Dysfunction Negatively Affects Prognosis After Living Donor Liver Transplantation: A Single-Center Retrospective Study. *Transplant Proc*, 55(7): 1623-1630, 2023. (査読有り) .
- 2 Morimoto T, ..., Yamamoto T, Novel and efficient method for culturing patient-derived gastric cancer stem cells. *Cancer Sci*, 114(8): 3259-3269, 2023. (査読有り) .
- 3 Yamamoto T*, ..., Oshimo Y, Nishikawa Y, Hisano K, Nakano K, Kawai T, Okuchi Y, Iguchi K, Tanaka E, Fukuda M, Taura K, Terajima H. Ability of minimally invasive surgery to decrease incisional surgical site infection occurrence in patients with colorectal cancer and other gastroenterological malignancies. *Front Surg*, 10(1150460), 2023. (査読有り) .
- 4 Yamamoto T*, Fukuda M, Okuchi Y, Hisano K, Tanaka E, Terajima H. Cranial-First Approach for Splenic Flexure Colon Cancer in Laparoscopic Complete Mesocolic Excision. *Dis Colon Rectum*, 66(5): e218-e219, 2023. (査読有り) .
- 5 Namikawa M, ..., Taura K, Simultaneous activation of Kras-Akt and Notch pathways induces extrahepatic biliary cancer via the mTORC1 pathway. *J Pathol*, 260(4): 478-492, 2023. (査読有り) .
- 6 Nam NH, ..., Taura K, Impact of liver volumetric regeneration on survival outcomes in patients with hepatocellular carcinoma after major hepatectomy. *Langenbecks Arch Surg*, 408(1): 193, 2023. (査読有り) .
- 7 Fujikawa T, ..., Terajima H, Kawai T, Management of Patients Receiving Antiplatelet Therapy During Gastroenterological Surgery: A Multicenter Prospective Cohort Study (GSATT). *Ann Surg*, DOI: 10.1097/SLA.0000000000006136, 2023. (査読有り) .
- 8 Narita M, ..., Terajima H, ..., Kyoto University Hepato-Biliary Pancreatic surgery Study G. Identification of patients at high risk for recurrence in carcinoma of the ampulla of Vater: Analysis in 460 patients. *Ann Gastroenterol Surg*, 8(2): 190-201, 2024. (査読有り) .
- 9 Makino K, ..., Kawai T, Integrated analyses of the genetic and clinicopathological features of cholangiolocarcinoma: cholangiolocarcinoma may be characterized by mismatch-repair deficiency. *J Pathol*, 263(1): 32-46, 2024. (査読有り) .
- 1 0 Laroche S, ..., Kawai T, Comparing indications, complexity and outcomes of laparoscopic liver

resection between centers with and without a liver transplant program: a French nationwide study. *HPB (Oxford)*, 26(4): 586-593, 2024. (査読有り) .

- 1 1 Amory B, ..., Kawai T, ..., Group PRSS. Combined hepatocellular-cholangiocarcinoma compared to hepatocellular carcinoma and intrahepatic cholangiocarcinoma: Different survival, similar recurrence: Report of a large study on repurposed databases with propensity score matching. *Surgery*, 175(2): 413-423, 2024. (査読有り) .
- 1 2 Li X, Koyama Y, Taura K, High expression of autotaxin is associated with poor recurrence-free survival in cholangiocarcinoma. *Hepatol Res*, <https://doi.org/10.1111/hepr.14031>, 2024. (査読有り) .

(総説)

- 1 Nishio T, Taura K, ... Current status of preoperative risk assessment for posthepatectomy liver failure in patients with hepatocellular carcinoma. *Ann Gastroenterol Surg*, 7(6): 871-886, 2023. (査読有り) .
- 2 井口 公太*, 波多野 悦朗 【質量分析イメージング法を用いた創薬・医学研究-時空間マルチオミクスの力】質量分析イメージング法を用いた肝臓の空間マルチオミクス解析. *医学のあゆみ*, 287(9): 669-677, 2023. (査読なし) .
- 3 内田 洋一郎, 木戸口 勇気, 松岡 森, 山田 信子, 穴澤 貴行, 長井 和之, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗 【チーム医療で取り組む肝胆膵疾患の栄養マネジメント】膵切除における周術期の栄養・リハビリテーション治療. *肝胆膵*, 88(1): 113-120, 2024. (査読有り) .
- 4 寺嶋 宏明* 臨床研修病院における外科医の働き方改革. *日本外科学会雑誌*, 125(1): 64-68, 2024. (査読有り) .

(症例報告)

- 1 Uemoto Y, Taura K*, ... A Rare Case of Donor-Origin Intrahepatic Cholangiocarcinoma After Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report. *Transplant Proc*, 55(8): 1964-1967, 2023. (査読有り) .
- 2 瀬尾 智, 上村 良, 待本 貴文, 寺嶋 宏明, 波多野 悦朗 大量肝切除時の門脈降圧を目的とした脾摘の有用性. *日本門脈圧亢進症学会雑誌*, 29(1): 40-44, 2023. (査読有り) .
- 3 福光 剣, 田浦 康二朗, 長井 和之, 内田 洋一郎, 石井 隆道, 伊藤 孝司, 秦 浩一郎, 八木 真太郎, 波多野 悦朗 生体肝移植と膵頭十二指腸切除術を一期的に施行した, 原発性硬化性胆管炎を背景とする広範囲胆管癌の1例. *日本消化器病学会雑誌*, 120(6): 524-531, 2023. (査読有り) .
- 4 西川 裕太, 井口 公太, 河合 隆之, 奥田 雄紀浩, 上村 良, 寺嶋 宏明* 十二指腸下行脚膵臓側の術後再発 GIST に対する臓器機能温存手術 (再局所切除) の経験. *手術*, 78(2): 259-264, 2024. (査読有り) .

(Letters)

- 1 Taura K*, Terajima H, ... Comment on "Prognostic Effect of Liver Resection in Extended Cholecystectomy for T2 Gallbladder Cancer Revisited: A Retrospective Cohort Study with Propensity-Score-Matched Analysis". *Ann Surg Open*, 4(4): e349, 2023. (査読有り) .

(その他)

- 1 Taura K*. Advances and Future Directions in Hepatobiliary Malignancies. *Curr Oncol*, 30(11): 9786-9788, 2023. (査読無し) .

【研究】

①主催学会、研究会、セミナー（コロナ禍で活動制限あり）

- ★第 21 回消化器センターK2-Net：2024/1/18（木）（web 形式）
- ★手術室看護師のための Team Building Seminar：2023/6/10（土）
- ★研修医のための消化器外科セミナー：2023/6/4（日）
- ★消化器外科ハンズオンセミナー：2023/6/3（土）、8/5（土）、10/21（土）、12/16（土）
- ★消化器センター研究セミナー：2024/2/22（木）
- ★北野京大研究セミナー：2024/3/15（金）

②研究活動内容；文部科学省・厚生労働省・その他団体からの研究助成

- ★腫瘍発生の土壌となる遺伝子発現変化を制御することによる新規大腸癌予防薬の開発（学術研究助成基金助成金 2021-2023 年度 若手研究）（奥知慶久）
- ★肝虚血再灌流障害とその制御における概日リズムの関与（学術研究助成基金助成金 2021-2023 年度 基盤研究 C）（寺嶋宏明、宮内智之）
- ★肝細胞癌における癌幹細胞を標的とした新規治療戦略構築に関する研究（学術研究助成基金助成金 2021-2023 年度 若手研究）（河合隆之）
- ★肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析（学術研究助成基金助成金 2020-2023 年度 基盤研究(B)）（宮内智之）
- ★生理的な胆道再建を目指した人工胆管の開発（学術研究助成基金助成金 2020-2022 年度 基盤研究(C)）（田浦康二郎）

③共同研究施設

- ☆ 京都大学 肝胆膵移植外科
- ☆ 京都大学 消化管外科
- ☆ 名古屋工業大学 医用生体工学研究室
- ☆ 慶応大学 生化学教室
- ☆ 同志社大学 生命医科学部

【著書】

- 1 山本健人 すばらしい医学 すばらしい医学 ダイヤモンド社 P1-392 2023 年発行